

第三次長野市生涯学習推進計画 目標値 推進状況

【施策1】 人生100年時代を見据えた学びの学習づくりの推進～今を充実させ、未来をひらく～

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R元年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1	保健センターでの「家庭の学び講座」受講割合(受講者数/対象者)	—	88.0%	90.4%	88.0%	90.4%	74.5%	80.1%	新型コロナウイルス感染症の影響で1月下旬から3月上旬の約1か月間は講座を中止していた。そのため、令和3年度の実績値は低い。このような状況下なので、外出の機会が減り、子どもや保護者は出かける機会が減り、孤立化している。	感染予防に配慮した講座の開催に努め、子どもや保護者が学べる場を設定し、多くの方に安全に利用してもらえるよう努めます。	保健所健康課
2	「おひざで絵本」事業での絵本配付率	90.0%	95.0%	92.4%	95.0%	92.4%	86.3%	87.7%	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い一部の健康教室が中止となったこと等の理由から、配付率が低下している。 絵本配付会場である7～8か月児健康教室に参加できない家庭に対し、事業の存在や意義を周知していく必要がある。	ICTを活用したり、子育て世帯を対象としたイベント等においておひざで絵本事業の紹介を行い、事業の存在や意義についての周知拡大を図ります。	家庭・地域学びの課
3	子どもわくわく体験事業補助金の交付件数	107件	120件	90件	120件	90件	20件	26件	多くの団体が活用しているが、活用していない地区があるため、更なる周知が必要である。	周知方法を工夫しながら、全地区から活用してもらえるよう努めます。	家庭・地域学びの課
4	サンライフ長野(中高年齢労働者福祉センター)利用者数			72,050人	80,000人	78,049人	46,255人	49,180人	新型コロナウイルス感染症の影響で、施設の利用控えや感染拡大防止のために中止せざるを得ない講座が発生し、開催する講座も募集人数を減らさざるを得ない状況となっている。コロナ禍における学習機会の場の提供方法が課題である。	新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、勤労者や地域住民の学習ニーズに対応した多様な学びの場を提供していきます。	商工労働課
5	高齢者団体の市立公民館・市交流センター利用回数	3,750回	3,800回	8,536回	8,600回	8,536回	7,890回	7,773回	高齢者団体は、公民館・交流センターを仲間づくりや生きがいがづくりの場として活用している。(※H29に見直しを図り高齢者団体の定義を明確にしたため数値に変更あり)	高齢者が利用しやすい施設づくりを目指すとともに、生涯学習による仲間づくりや生きがいがづくりを通して仲間と共に活躍できる場の提供を支援します。	家庭・地域学びの課
6	市立公民館・市交流センターにおける、情報通信機器の利用に係る講座の開催数	92回	95回	71回	95回	71回	63回	63回	これまでパソコンの活用を目的とした講座を実施してきたが、スマートフォンの普及により、高齢者のニーズが変化してきた。	スマートフォンの普及によりICT活用講座や犯罪・セキュリティ対策等の講座を開催する必要がありますが、民間事業者においても同様の教室等を開催しているため、連携を進めていく必要があります。	家庭・地域学びの課

第三次長野市生涯学習推進計画 目標値 推進状況

【施策2】 市民の学びを支える体制づくりの推進～学習しやすい仕組みをつくる～

指標項目	第二次計画		第三次計画		R元年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
	現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1 若い世代を中心に構成される団体が市立公民館・市交流センターを利用した割合	9.9%	11.0%	7.5%	11.0%	7.5%	5.1%	4.8%	市立公民館・市交流センターでの活動を行いたいと思う市民の割合は、若い年代は低い。また、若い世代を中心に構成される団体の活動は、主に夜間や休日のみの傾向がある。	これまで市立公民館・市交流センターを利用することの少なかった世代が利用しやすくなるような施設運営を検討していきます。	家庭・地域学びの課
2 市立公民館・市交流センター活動に関するSNS(ツイッター)による情報発信数	—	180	81	180	81回	20回	47回	SNSを通じて公民館・交流センター活動を発信しているが、フォロワー数が少ない。発信の頻度や内容が公民館・交流センターにより偏りがある。	SNS等による情報提供を行うとともに、より効果的な情報発信を行い、誰もが生涯学習に関する情報を得やすい環境を整備します。	家庭・地域学びの課
3 生涯学習センターの利用者数	207,513人	210,000人	189,238人	210,000人	189,238人	46,755人	51,715人	市民の生涯学習を総合的かつ効率的に推進していくため、公民館・交流センターとネットワーク化を図り、モデル講座の実施や情報発信を行っていく。	中心市街地の立地を生かし、大小様々な学習室で、グループ・サークルの練習や発表、企業の会議、セミナー、講演会、展示会など幅広い用途で利用してもらえるよう努めます。また、主催事業を多数企画し、集客に努め中心市街地活性化の役割を担います。	家庭・地域学びの課
4 一日あたりの入館者数(長野図書館)	1,164人	1,250人	1,104人	1,250人	1,104人	946人	997人	入館者の増加を目指すためには、職員体制の充実を図るとともに、慢性的に不足している駐車場問題の解決を図る必要がある。	市民に親しみを持って利用される図書館、要望に応えられる図書館づくりをめざし、各種行事の充実やサービスの充実に努めます。	長野図書館
5 「親子学級」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	29館 (全館)	100%	100%	29館	29館	27館	生涯学習の推進とともに家庭の教育力の向上を図るため、親と子が参加して学ぶ「親子の学び」をキーワードとした講座を実施した。全館で計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、2館で実施できなかった。	引き続き、全館において親子学級を実施します。	家庭・地域学びの課
6 「地域の学び講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	29館 (全館)	100%	100%	29館	28館 (長沼交流センター除く)	28館 (長沼交流センター除く)	「地域の学び講座」は公民館・交流センター全館で実施しており、多くの受講者が参加している。	社会情勢の急激な変化により、地域のつながりが希薄化し、社会や地域のルールを地域が教えるといった教育力の低下が指摘されているため、「地域を知る」「地域のつながり」「地域で協力し合う」「地域で連携する」など地域に関わる講座を全館で開催していきます。	家庭・地域学びの課

第三次長野市生涯学習推進計画 目標値 推進状況

【施策3】ともに学びあう人と地域づくりの推進～生涯学習の成果を生かす～

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R元年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
1	市有ホール施設の利用者数	277,372人	535,000人	359,572人	458,000人	359,572人	149,200人	237,929人	令和8年度の目標値を達成するためには利用者数のさらなる増加が求められる。	長野市芸術館を拠点とした多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供や、市民の自主性・自発的な文化芸術活動を支援し、生きがいやまちのにぎわいにつながる発表機会の充実などに引き続き取り組みます。	文化芸術課
2	成人が週1回以上スポーツや運動を実施した割合	59.1%	65.0%	59.9%	65.0%	59.9%	59.9%	62.3%	30代・40代の勤労・子育て世代でのスポーツ実施率が低い。	スポーツに親しむきっかけを提供するため、勤労・子育て世代が参加しやすいスポーツ大会、教室、イベントの開催や支援をしていきます。	スポーツ課
3	「フレイル予防講座」を実施する市立公民館・市交流センターの割合	—	—	100%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	他の市有施設で実施しているフレイル予防講座と、内容的に類似している講座がある。	近隣の市有施設や民間が実施しているフレイル予防講座を視野に入れつつ、フレイル予防講座を実施していきます。必要に応じて他課や民間と連携して実施していきます。	家庭・地域学びの課
4	住んでいる地域の行事に参加している児童・生徒の割合について、全国を100とした指数	小学生 129.4 中学生 118.8	小学生 131.7 中学生 120.6	小学校 128.1 中学校 120.0	小学校 131.0 中学校 117.3	小学校 128.1 中学校 120.0	中止	小学校 139.6 中学校 125.6	子どもと地域との関わりが希薄化が進んでおり、地域で子どもを見守り、育てることの重要性を伝えていく必要がある。	地域で子どもを育てようとする機運を高めるため、子育てに関する研修会や講座の開催を継続し、家庭、地域、学校が一体となって子どもの学びや育ちを支えていけるよう家庭教育の啓発を図ります。	家庭・地域学びの課
5	人権教育・啓発研修会参加者の満足度	88.8%	92.0%	83.3%	92.0%	83.3%	アンケート未実施 (コロナ感染防止のため)	84.8%	人権課題の多様化により、さまざまな人権について理解と認識を深める人権教育・啓発が求められている。 人権研修会の参加者数が減少し、かつ、若年層の参加が少なく、企業人権教育推進協議会の加盟企業数も減少している。	全市民対象の「人権を尊重し合う市民のつどい」や各地域の人権講座など、あらゆる機会を通して多様な手法による効果的な啓発に努めます。 人権研修会等にオンラインによる手法を取り入れるなど、受講者が参加しやすい環境を整えていきます。	人権・男女共同参画課
6	国際交流コーナーの利用者数	8,909人	9,200人	8,098人	9,200人	8,098人	5,582人	5,682人	新型コロナウイルス感染症の影響で、日本伝統文化体験教室を開催できていない。窓口で訪問することが困難な外国籍住民を対象にして、オンライン日本語教室を開催している。	より多くの人に利用してもらうため、ホームページやSNSを活用し、国際交流コーナーについて広く周知します。	観光振興課 インバウンド・国際室
7	環境学習会参加者数	5,104人	5,200人	6,995人	5,500人	6,995人	2,683人	3,124人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学習会等を開催できない、もしくは開催できても規模を縮小して開催する等の影響により、大規模なイベント等を開催し多くの人を集める方法が困難となっている。	環境教育・環境学習の機会の提供を今後も継続します。 特に次世代を担う子供向けプログラムの開発等を検討し、学習機会の充実を図ります。	環境政策課 (環境保全温暖化対策課)
8	自主防災組織が実施する防災訓練の実施率	87.1%	100%	68.9%	100%	68.9%	55% 【新型コロナウイルス感染拡大に伴う訓練自粛】	60.4%	感染症の流行により訓練の実施率が低下している。 防災訓練未実施の組織が固定されてきている傾向にある。 自主防災組織の構成世帯数の減少等の理由により、防災訓練の実施等、防災活動が停滞している組織があると考えられる。	新型コロナウイルス感染症に関する基本的な感染防止措置に配慮した上で、消防局が行う研修の機会等を活用し、防災訓練の実施等についての啓発を行うとともに、自主防災組織に関する要綱等の見直しを行い、組織の活性化を図ることで目標値の達成を目指します。	消防局 警防課

第三次長野市生涯学習推進計画 目標値 推進状況

【施策3】ともに学びあう人と地域づくりの推進～生涯学習の成果を生かす～

	指標項目	第二次計画		第三次計画		R元年度 実績値	R2年度 実績値	R3年度 実績値	取組の課題	今後の方向性	担当課
		現状値 (H27)	目標値 (R3)	現状値 (R元)	目標値 (R8)						
9	読みがたり・朗読ボランティア養成講座 参加者数	32人	50人	76人	80人	76人 (長野図書館 24人/南部図 書館 初級35 人・中級17人)	43人 (長野図書館 8人/南部図 書館初級20 人・中級14人)	76人 (長野図書館 24人/南部図 書館初級31 人・中級21人)	長野図書館 受講者のレベルに合わせた養成講座を企画 することが必要である。 南部図書館 受講者にもよるが、受講自体が目的となり、 ボランティア活動につながらないことがあ る。 託児所が設置できないため、乳幼児の保護 者が受講を断念していることがある。	長野図書館 引き続き、読みがたりボランティア養成講座 を開催するとともに、活動の場を提供します。 南部図書館 ボランティアの朗読技術の維持・向上のた め、「学び直し」を受け入れていきます。 より高いレベルを目指す上級者講座の開催 を検討します。	長野図書館 南部図書館
10	市立公民館・市交流センターの講座に おける地域住民が講師を務めた講座の 割合	37.2%	38.5%	28.4%	38.5%	28.4%	32.0%	32.0%	市民ニーズが多岐にわたるため、講座を企 画した際に引き受けてくれる講師が地元にい ないことが多い。	地元の講師を活用し、講座で学んだ受講者 が次の講座では講師になるなど相互に教え、 いつでも、どこでも学び合える環境を支援し ます。	家庭・地域学 びの課